

## UAPプログラム(SAP University Alliance Program) Q&amp;A

No	質問	回答
1	SAPとは	SAPは、1972年にドイツで設立された、ERPパッケージ(統合業務パッケージ)ソフトの大手ベンダー会社です。 SAPはERPをはじめとしたB2B(ビジネスTOビジネス)の業務統合システムの市場において圧倒的シェアを誇り、ソフトハウスとしてもMicrosoft、Oracleに次ぐ規模を持っています。現在までに、世界120以上の国において、世界の主要企業1万社以上に導入されています。
2	ERPとは	企業の経営資源(人・もの・金・情報)を有効に活用し、経営を効率化するために、基幹業務(販売・生産・購買・会計・人事)を部門ごとではなく統合的に管理するためのソフトウェアパッケージです。 SAP ERP@は、様々なWindowsやUNIXなど複数のプラットフォームに対応していることやノンプログラミングで標準アプリケーションをチューニング(カスタマイジング)することができるため、顧客志向パッケージとして、世界市場でシェア1位を獲得しています。
3	ERPはいつからあるものですか	1990年代前半の欧米におけるBPR(Business Process Reengineering、業務プロセス改革)ブームをきっかけに、日本を含む世界中の多くの企業でERPパッケージが本格的に採用されるようになりました。
4	導入企業は?	株式会社神戸製鋼所、東日本旅客鉄道株式会社、日本郵船株式会社、住友化学株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社講談社、住友商事株式会社、株式会社ファミリーマート、株式会社ニチレイなどです。 この他にも数多くの上場企業がSAP ERP@を導入しています。最近では中小企業にも導入されてきています。 <a href="http://www.sap.com/japan/about/success/index.epx">http://www.sap.com/japan/about/success/index.epx</a>
5	SAP以外にもERPはありますか	Oracle E-Business Suite(日本オラクル)、PeopleSoft Enterpriseアプリケーション(日本オラクルインフォメーションシステムズ)、GLOVIA(富士通)、COMPANY(ワークスアプリケーション)などがあります。
6	SAPの製品の良いところはどこですか	標準機能が他のERP製品と比べ圧倒的に豊富であることや導入時にテンプレート(出来上がっている仕組み)などを上手く使えば、導入時のコストを抑えるための仕組みが充実しているなどがあげられます。 また、世界の有数の企業で使われているため、様々なニーズを取り入れ、バージョンアップを定期的に行い、機能改善を継続的に行っています。
7	SAPはERPの中でどのくらいのシェアを占めていますか	2008年の国内ERP市場規模は、1,763億2,600万円です。 2008年におけるERPベンダー別シェアは、SAPがシェアトップの18.0%、2位は富士通でシェアが15.3%、3位はワークスアプリケーションでシェアが8.9%でとなっています。
8	UAP(SAP University Alliance Program)とは	SAP University Alliances プログラムでは、実際のSAP ERP@に直接アクセスして、ビジネスプロセス管理を体系的に学習することができます。 1988年にドイツで開設されて以来、36カ国800を超える大学が参加しています。 日本国内では、現在18校程度が本プログラムに参加し、企業の即戦力となる人材の育成を行っています。 学生は、このプログラムを通じて、組織がどのように運営されているのか、そして統合システムがどのように組織の効率化、生産性向上、収益向上を実現するかを学ぶことができます。 <a href="http://www.sap.com/asia/services/education/uap/index.epxindex.epx">http://www.sap.com/asia/services/education/uap/index.epxindex.epx</a> <a href="http://www.sdn.sap.com/irj/scn/submitcontent?rid=/webcontent/uuid/70ed5d20-0797-2b10-74b8-eebd02d68266">http://www.sdn.sap.com/irj/scn/submitcontent?rid=/webcontent/uuid/70ed5d20-0797-2b10-74b8-eebd02d68266</a>
9	UAPはどうすれば受講できますか?	実施教育機関は青山学院大学、駒澤大学、京都コンピュータ学院、早稲田大学などです。
10	UAPを受講するに当たり必要な知識やスキルはありますか?	SAP ERP@のベースは会計システムです。よって、日商簿記3級レベルの事前知識はあった方が良いでしょう。また、コンピュータの基本的な知識(ITパスポートレベル)も合せて持っておいた方が良いでしょう。
11	UAPはどれくらいの期間をかけて学習するのでしょうか?	短いところでは、3か月程度、長いところで3年間くらいです。 内容をどこまで行うかによって、学習期間は異なります。 通常は、1年間位で学習を行います。 1年生の夏休日から授業を始め、ERPの概論を6か月くらいで学習します。2年生になってからは、会計コンサルタント(財務会計)として必要な知識を6ヶ月くらいで学習します。2年生の後半では、ERPの学習ペースについていけなかった学生のフォローと、より上位を目指す学生は、管理会計などを学習します。
12	UAPはどのような授業内容ですか?	教材は日本語で丁寧に説明されており、実習も多く、ただ覚えるだけの勉強ではなく、実際にSAP ERP@を動かして、社会で行われている、物の販売や在庫の管理、会計処理などを行いますので、実務を実感しながら分かりやすい学習ができるようになっています。
13	実習環境はどのようになっていますか?	UAP用SAP ERP@は、オーストラリアのサーバで集中管理されています。授業の際は、生徒が1人が一台ずつ各自のPCを使い、オーストラリアのサーバにあるSAP ERP@にアクセスします。 アクセスはスムーズにでき、SAPを学習するための最高の環境が整っています。

14	何か資格を取ることができますか？	<p>広くERPベンダ(システム会社)の間で認知されている実践的な会計・IT資格である『CERP60(SAP認定ソリューションアーキテクト SAP ERP6.0 ビジネスプロセス統合): TERP10』の取得が可能です。</p> <p>通常、この資格は社会人が取得を目指していますが、UAPを受講している学生は、この資格を取る為の勉強ができます。</p> <p>また、SAP ERP@には生産(PP)や販売(SD)、会計分野(FIN、CO)などといった、多岐にわたる上位資格が存在します。引き続きSAP ERP@を学習していけば、更なるスキルアップが可能です。</p> <p>FCBでは、TERP10は1年生で取得を目指し、2年生になってからは、上位資格であるFIN(財務会計)の資格を目指します。</p> <p>合格率は、TERP10は全員、FINは数名の合格を目指します。</p>
15	UAPのメリットは何ですか？	<p>学生は「実社会」でビジネスがどのように行われているかを就職する前に体験し、学ぶことができるため、ビジネスとITに関連する貴重なスキルを取得することができます。</p> <p>また、SAPのスキルや資格があれば、SAPユーザやベンダーの就職に有利ですし、高額な初任給を得ることができます。この他にもSAPの認定試験への助成金の適用などがあります。(試験料5万円が半額になります)</p> <p>就職後も即戦力として有利なスタートを切ることができ、現場でSAPのスキルを活かすことができます。</p> <p>既にUAPを導入している学校では、大手コンサルティング会社へ学生を就職させています。</p>
16	学生の就職先はどんなところになりますか？	<p>主には、企業のシステム部門や会計部門です。</p> <p>ERPを導入している会社は、なかなかERPを理解している人材が少ないので、人材の育成に困っています。例えば、パナソニックや日産自動車など一部上場企業などがあります。</p> <p>また、コンサルティング会社へ就職することもあり、アビームコンサルティングや住商情報サービスなどへ就職しています。</p> <p>EPRを理解している人材が不足しているため、技術者は貴重な人材となっています。</p>
17	SAP ERP@のスキルを取得するとどのようなキャリアアップができますか？	<p>SAP ERP@は企業経営の根幹をなす業務システムです。</p> <p>現在の企業は、ITなくしては業務が成立しないとんでも過言ではありません。</p> <p>そのような中で、ITスキル+ビジネススキルを取得できるUAPカリキュラムで十分な経験を積んでいけば、プロジェクトマネージャや業務コンサルタントなどの、より上位へのキャリアアップが可能です。</p>
18	UAPを受講するためにはどれくらい費用がかかりますか？	<p>無料です。</p> <p>特にUAP向けに授業料は必要ありません。</p> <p>社会人向けのカリキュラムもあり、実際に今も行われていますが、そのカリキュラムでは、1日7万円程度の授業料を支払って、約10日間の講義を受けます。</p>
19	講師の方はどんな方ですか？	<p>SAPの認定カリキュラム同等の教育を受けた講師です。</p> <p>また、学生指導の経験も豊富な先生です。</p>
20	どれくらい的人数で授業は行いますか？	<p>少人数制の授業です。(10~30名程度)</p>
21	受講には授業料以外の費用がかかりますか？	<p>学校によりますが、通常は授業に必要な教材やコンピュータは、全て学校で用意しています。</p>
22	他の学校でこのコースを受けている学生はどんな学生ですか？	<p>専門学校生や大学生です。</p> <p>高校時代は特に会計やコンピュータの勉強をしていない人も、UAPでしっかりと勉強できています。</p>
23	高校では、どの学科で勉強している生徒が優位ですか？	<p>会計ビジネスや情報システム学科で簿記や情報システムの基礎知識をもっている学生は有利です。</p> <p>ただ、ERPは高校では学ばない教科なので、とても優位ということはありません。</p>
24	男女の比率はどのくらいですか？	<p>男性の方が少し多い程度です。</p>
25	ERPを学ぶ生徒は数学の知識が必要ですか？	<p>数学は必須ではありません。</p> <p>会計基礎知識とコンピュータの基礎知識があるとよいです。</p>
26	あまり成績のよくない生徒が、難しいERPの勉強についていけますか？	<p>一概には言えませんが、興味を持つこととやる気が必要です。</p> <p>根気よく学習を続けられることが、一番大事なことだと思います。</p> <p>UAPはコンピュータを使った授業なので、比較的学びやすく飽きのこないカリキュラムとなっています。</p>
27	生徒がERPの学習がいやになったら学校生活はどうなりますか？	<p>講師とよく相談したうえで、問題を解決していきます。</p> <p>学生に合った学習カリキュラムを提供しながら、根気強くフォローして行きます。</p>
28	生徒が勉強についていけない場合のフォローは何かありますか？	<p>通常、補習などを行い全面的にバックアップします。</p> <p>教材は自習もできる内容となっていますので、自分のペースで勉強することもできます。</p> <p>また、自宅からでもインターネットを介して学習できる環境がありますので、授業の遅れを自宅で取り返すこともできます。</p>
29	ERPはどの会社も使っているものですか？	<p>1部上場のような大きな企業が主に導入を進めていきましたが、最近では中小の企業にも導入が進んでいます。</p> <p>また、導入にあたっては、会社の方針でEPRパッケージを導入する場合と、自社またはベンダを使って独自に開発する場合があります。</p>

30	ERPを学ぶと将来どのように役立ちますか？	どの会社でも必ず行われている、販売・在庫・購買・会計といった業務の流れが理解できます。 また、ERPは、全世界のレベルで各会社が最適と思う業務の流れをパッケージにして作ったものなので、最適な業務の流れと言うものがどのようなものなのかを、会社で実際に使われているシステムとまったく同じものを使いながら、実務の流れを学べます。 よって、会社へ就職したのちに、会社の業務の流れをすぐに理解して、また、改善提案など、業務を最適化するための行動ができるようになります。
31	コンサルタントと言う職業は何をするのですか	業務または業種に関する専門知識を持って、企業に対して外部から客観的に現状業務の問題点を指摘し、原因を分析して、対策案を示して企業の業務改善を行います。 戦略系コンサルティングや総合系コンサルティング、人事系コンサルティング などそれぞれの分野で、専門のコンサルタントがいます。
32	学校を卒業してコンサルタントになる人はいますか	ただし、アビームコンサルティングは2009年4月から専門学校に「ERP基礎講座」を開設し、卒業生には優先的に入社できる可能性が高いと言っています。 この他にもERPのスキルを持った人材なら中途採用を積極的に行うと言った会社は多数あります。
33	学校を卒業してコンサルタントになれますか	弁護士や医者のように国家試験に合格しなければならぬわけではないため、基本的には誰でもスキルとやる気さえあれば、コンサルタントになれます。
34	コンサルタントの給与はどのくらいですか	初任給で20万～30万前後となっています。 年俸制を取る会社も多いです。 ただ、経験を積むと、30代で1000万円程度の収入がある人も珍しくありません。
35	コンサルタントに仕事年齢の寿命はありますか	自分のスキルがモノを言う仕事なので、仕事寿命はありません。 たゆまぬ努力を続けければ、独立開業することも夢ではありません。
36	コンサルタントの年収はどのくらいですか	平均年収は700～800万円くらいです。
37	コンサルタントの平均勤続年数はどのくらいですか	平均10年くらいです。 ただし、外資系のコンサルティングファームは人の出入りが激しく、あまり長くはありません。 これは、コンサルタントという職業が自分のスキルによるところが大きいからです。 会社に属さなくても、一人で生きていける力を持っていることから、普通の業種に比べると転職しやすい環境にあります。コンサルタントの給与相場が高いのも1つの要因です。
38	コンサルタントの平均年齢はどのくらいですか	35歳前後です。
39	コンサルタントとして過ごす、どのようなステップを上がって行くのですか	以下のキャリアパスになっています。 アソシエイトコンサルタント → コンサルタント → マネージャ → パートナー  <アソシエイトクラス> 新卒、第2新卒で入社した場合は、まずこのクラスからのスタートが多いです。 戦略系コンサルティングファームであれば、調査やレポート作成の仕事がメインになります。 IT系コンサルであれば、ほぼ開発職に近い仕事となります。  <コンサルタントクラス> 配属されたプロジェクトにより仕事の内容は大きく異なります。 戦略系であれば、提案書や報告書の作成、プレゼン等を行うことになるでしょう。 IT系コンサルであれば、要件の定義、設計などのいわゆる上流工程に関わる仕事を行い、顧客との接点が増えます。  <マネージャークラス> 通常は、クライアント(＝顧客企業)のプロジェクトを統括する責任者となります。 プロジェクトの推進・運営・管理など全般にわたるマネジメント業務を担当し、常に”成果”を意識する必要があります。  <パートナークラス> 通常は、複数のプロジェクトに関わったり、また、コンサルティング会社の経営にも関わってきます。 コンサルティングファームの中でもパートナークラスの人材は少なく、その年収も1000万円～上は1億円を超える場合もあるようです。その反面、大きな成果を求められ、非常に責任が仕事とも言えるでしょう。